



Go Playing Fellowship
of Rotarians

ロータリー囲碁同好会

NEWS LETTER

NO .29

2017・03・15

台湾大会参加のご案内

HP <http://www.gpfr.jp>

大塚五段（大垣） 二代で栄冠に

＜第15回ロータリー全国囲碁大会＞

仙台RCの石井・井上両四段が中級で圧倒



閉会の点鐘を終えて入賞者、参加者と共に記念撮影。カップを手にするのは3クラスの優勝者。前列右から井上四段、瀧澤3級、大塚五段、新藤日本支部長、足立審判長、石井四段、中山六段、山口3級。大会場は今回初めて日本棋院本院6階の対局室で。

＜第15回ロータリー全国囲碁大会結果＞2015年10月15日

上級者クラス(五段以上)

優勝	大塚 典和五段(大垣)
準優勝	中山 誠六段(美祢)
3位	宮崎 重人六段(福岡城東)初
4位	関田 榮治五段(東京八王子)

中級者クラス(初段～四段)

優勝	石井 彦壽四段(仙台)
準優勝	井上 修一四段(仙台)
3位	濱田 広道二段(東京麴町)
4位	川村 壽文初段(宇都宮東)

初級者クラス(1級まで)

優勝	瀧澤 恒夫3級(結城)
準優勝	山口 達夫3級(東京立川こぶし)
3位	日下 将孝3級(福島中央)
4位	田中 一邦5級(船橋南)初

クラブ対抗戦(複数参加の12クラブ)

優勝	仙台RC
準優勝	東京八王子RC
3位	宇都宮東RC

3勝1敗は上級5人、中級と初級4人に

前回のスイス方式に戻すことも検討へ

R I 公認の親睦団体であるロータリー囲碁同好会(GPFR)日本支部主催の「第15回ロータリー全国囲碁大会」(第2580・2750地区共催、ホスト 東京RC)は昨年10月15日(土)に東京・市ヶ谷の日本棋院本院6階の対局場2部屋を使用して、全国から49名(女性2名)のロータリアンを集めて開催しました。この全国大会は国内の強豪を集めて、続けて行う春のロータリー国際囲碁大会で国際交流と親睦を深め、合わせて囲碁チャンピオンを勝ち取る目的で毎年秋に東京で行っています。

参加者は初級クラス12名(女性1名)、中級クラス16名、上級クラス20名(女性1名)で、今回初めて初級クラスは5級から1級までの級位者のみで占められました。これは通常、中級者クラスは三段と四段とで対戦が行われていたのですが、今回、四段は仙台RCからの2人だけでした。中級者クラス三～四段にもっと多くの参加者が望まれます。

大会は午前10時に6階会場で、日本支部長のPDG新藤信之初段(東京立川こぶし)の開会宣言と点鐘で始まり、国歌斉唱、ロータリーソングを合唱。新藤支部長から「GPFRは日本、韓国、台湾の3支部に続いて2015年3月にハワイに米国支部が誕生して昨春のソウルRI大会には4支部長が初めて揃い、発展の途上にある。今日は勝負と

いうよりも親睦に」と歓迎の挨拶。この中で東北大震災の被災地から参加された松永邦彦五段（福島・原町中央）を紹介して、会場から激励の拍手が送られました。

今回の目玉は、審判長に足立盛二郎五段（東京銀座）がデビューしたことです。元世界チャンピオンの塚本利光六段（東京京浜）に審判長を務めていただいたのですが、所要のために欠席となり、日本棋院元理事で現参与の足立五段にお願いしました。

足立審判長は「一期一会というよりも一期一局。今日の出会いを貴重な出会いにしてください」と挨拶され、今大会のルールについて①対局者を審判長が決定し指定席で②コミ 6 目半③持ち時間は 35 分の計時制④時計位置は白に決定権⑤判定は審判長の専権事項⑥順位付けは高段者、次に高齢者を優先する、と説明された。

「対局始めー」と審判長の号令で対局が 10 時 30 分にはじまり、午前中に 2 局、午後に 2 局が行われた。対局者が計 49 名と奇数だったことから、足立審判長がお役目に専念されることになりました。



昼食休憩時に大島達治五段（仙台）写真左より恒例の東北大震災についての報告を頂いております。今でも米軍の「おともだち作戦」の懸命の搜索活動が目に焼き付いていますが、大島さんは「当時の菅直人首相が現地に 10 万人の自衛隊派遣を命じた結果、防衛上に大きな穴が生じて、

米軍が総力を挙げてサポートしてくれたという事実が案外知られていない。

大震災は日本全体の大きな危機だった」との講話に、一同大いに感動しました。

3 連勝の岡本五段と田中 5 級は無冠に

午後は 1 時 30 分から再開。途中 2 名の退出者がありましたが、静寂な会場で足立審判長が一人見回りをされておりました。

3 局を終了したところで、3 連勝は初級者で田中一邦 5 級（船橋南）が初出場ながら一人奮闘。中級者は岩本峯吉初段（埼玉・松伏）と石井彦壽四段（仙台）の 2 名が勝ち残り、上級者も岡本久永五段（豊橋ゴールデン）と大塚典和五段（大垣）が連勝を維持して最終局に臨みました。

4 戦目の初級者クラスでは異変がありました。連勝の田中 5 級は老練な瀧澤恒夫 3 級

(結城)に敗れ、結果は3勝1敗が4名に。それも瀧澤3級のほか日下将孝3級(福島中央)と山口達夫3級(東京立川こぶし)が並んで、大会ルールによって3級の3人が年齢順で上位を占め、残る田中5級が4位と涙を飲みました。

中級者クラスは石井四段が4連勝で優勝。しかし、3勝1敗者は岩本初段と河村壽文初段(宇都宮東)、濱田広道二段(東京麴町)、井上修一四段(仙台)の計4名となり、高段順に入賞者が決まって、同星の岩本初段は一人選外に漏れてしまいました。岩本初段は3連勝した時に恐らく「準優勝かなあ」と思ったはずです。次回優勝を目指してください。

若武者大塚五段 恐るべし

上級者クラスも混戦となりました。大塚五段と岡本五段の一騎打ちとなり、勝ったほうが文句なく「ロータリー囲碁名人」の称号を得ることができます。大塚五段は一昨年4月の東京国際囲碁大会で五段の上級者クラスに昇格した49歳。一応に「若さに似合わない落ち着いた構えで、将来が楽しみ」と高評価を受けていました。父上は和彦六段(元大垣)。2012年10月の第11回全国囲碁大会で優勝(NL21号に特集記事)され、親子二代のチャンピオンとなりました。もちろんGPFR大会では初の偉業です。

敗れた岡本五段に関田榮治五段(東京八王子)、上野卓爾五段(千葉幕張)、中山誠六段(美祢)、宮崎重人六段(福岡城東)が3勝1敗で5名の争いになり、大会ルールによって五段の中でも若い上野五段と岡本五段が入賞を逃してしまいました。岡本五段は。国際囲碁大会に何度も遠征された古豪ですが、年齢順のルールで負けてしまいました。

こうした横並びで高段者、高齢者順での順位決定は主催者としても心苦しい結果です。役員の間で前回のようにスイス方式を採用しようとの意見がでました。次回に備えて検討してみます。

日本支部幹事 太田清文(東京)

次回の全国大会は10月14日

GPFR日本支部は2017年10月14日(土)午前10時から東京・市ヶ谷の日本本院1階の対局室で「第16回ロータリー全国囲碁大会」を開催します。3クラス制、1時間の早碁戦で、同クラブ上位2人の得点によるクラブ対抗戦も行います。登録受付は09:30、昼食挟み4局の予定。表彰式は16:00の予定です。

3クラスとも上位4位まで入賞楯を用意。登録料7000円(昼食代等含む)。締め切りは10月8日(金)。定員100人です。大会参加はメイクアップになります。

このご案内は次回ニュースレター(8月予定)でお知らせいたします。

お礼状

原町ロータリークラブ会長 島田俊之

時の流れは早いもので、東日本大震災以来5年7ヶ月余りが経過いたしました。私達の住む街南相馬市は、地震、津波による被害は無論のこと、東京第一原発事故により、20km圏内、20～30km圏内、30km圏外の3地域に分断され、避難の状況及び、原発事故の補償についてもそれぞれ違った扱い方でありました。最近ようやく20km圏内の地域への住民帰還が認められ、学校の再開（小中校）病院の再開が行われているのが現状であります。

古来、国破れて山河在り、戦争に負けても自然が故郷が保全、存在し、自然の恵みを享受できたわけでありますが、一方原発事故による放射能汚染は自然破壊、故郷破壊そのもの

であります。自然の恵みであるキノコ類及びタケノコ等は、いまだ食べることができない現状であり、事故直後より放射能汚染が悪化しております。海の恵みである北寄貝、ヒラメなど水産物の多くは食べることが可能になってきました。

それでも、小中校生を有するご家族は、父親だけは南相馬市。母親と子供は避難という状況で、約4割程度が家族離れ離れの状態にあります。当市の高齢化は20年先を行っております。一方、建設関連業界は、復興バブルにより、建築工事費が高騰しており、震災以前の倍以上になっております。これは当地域の特殊原因にも依ります。

さて、震災当初は、当市の中心部（旧原町市）は20km～30km圏内で7万人の人口中6万人が避難してたわけです。さらに当市への立入りが制限され、極端な物資不足になり、当市の桜井市長がユーチューブで世界に窮状を発信し、世界の100人に選ばれたようでした。

このような不安、悲惨な状況の時に、囲碁クラブ同好会の諸君は、すぐさま当原町中央RCに対し、義援金を募り、多額の金員をお送りいただきました事、誠に感謝に耐えない次第であります。お陰様にて震災以降会員も増え46名にて活動しております。このことは、新藤会長並びに太田幹事を始めとする皆様各位の暖かい御支援の賜と心より感謝を申し上げます。貴囲碁クラブ同好会が益々発展されることをお祈り申し上げます。

このように不安、悲惨な状況の時に、囲碁クラブ同好会の諸君は、すぐさま当原町中央RCに対し、義援金を募り、多額の金員をお送りいただきました事、誠に感謝に耐えない次第であります。お陰様にて震災以降会員も増え46名にて活動しております。このことは、新藤会長並びに太田幹事を始めとする皆様各位の暖かい御支援の賜と心より感謝を申し上げます。貴囲碁クラブ同好会が益々発展されることをお祈り申し上げます。



台湾囲碁大会 6 月 3~4 日に

「第 18 回ロータリー国際囲碁大会」は 2017 年 6 月 3 日（土）、4 日（日）の 2 日間、台湾・桃園市の Rosa Garden で開催することが決定しました。

現地集合・現地解散となっておりますが、台湾支部が宿泊先に手配している桃園市内の住都大飯店に 3 日 15:00 までに集合し、歓迎晩餐会が行われる Rosa Garden にバスで往復。翌 4 日も 08:00 に出発し、大会場の Rosa Garden で懇親会を終えて 21:00 に戻る予定です。

参加登録料は 15000 円（3 日歓迎晩餐会・4 日昼食・懇親会費とバス代、お土産代、賞品代を含む）。

GPFRR 主催の団体ツアーを企画しました。このニューズレター 29 号に同封してあります参加申込書および日洋航空㈱のパンフレットをお確かめください。台湾大会参加希望者は、単独でもツアーでもこの参加申込書に必要事項を記載の上、FAX(03-3452-1652)にて送信してください。折り返し FAX で大会要領等をご連絡いたします。

大会ルールは台湾支部が決定することになっています。今回は台湾の囲碁ルールによって 3 クラスの 1 時間計時式で、スイス方式により決勝進出者が決定しました。台湾ルールは終局後の石の数え方が独特で、審判が立ちあって勝敗を決めますので、国際大会らしい雰囲気味わえます。

参加者は会員のみではなくロータリアンとその家族も参加を歓迎いたします。同伴のご家族に対して 4 日に終日観光が用意されています。大会参加はメイクアップ（国際奉仕活動）になります。

お悔み申し上げます

GPFRR 日本支部の第 3 代支部長であった二上達也・元日本将棋連盟会長（東京 RC）が 2016 年 11 月 1 日、肺炎のため茨城県牛久市の病院で逝去されました。享年 84 歳

二上先生は函館市出身。タイトル戦 26 回、獲得 5 期（棋聖 4 期 王将 1 期）。昭和を代表するプロ棋士でした。羽生善治棋聖の師匠であることも知られています。

1998 年 12 月に東京 RC に入会され、GPFRR が誕生したのは 2000 年 3 月ですが、3 年後の「第 4 回ロータリー国際囲碁大会」がホストクラブを東京 RC となって開催したことを機会に GPFRR 会員に加わっていただきました。

翌 2004 年に韓国・大邱市での第 5 回国際大会に参加され、囲碁 6 段であり指導者としてのお人柄にひかれて韓国旅行中に周囲から「ぜひ GPFRR を率いてください」と求められ、2005 年から 2008 年まで日本支部長を務められた。合掌



全勝同士の決戦。優勝した大塚五段（右）と大会ルールで入賞を逃した岡本五段



中級者クラス優勝杯を手にする石井四段。東北大学名誉教授です。右は足立審判長



がんを克服してソウル囲碁大会に参加。勢いに乗って初級者で優勝の瀧澤3級



クラブ対抗戦優勝の仙台 RC。左から井上四段、石井四段、大島五段の最強トリオ



一昨年の全国大会でデビュー以来、上級者クラスで大活躍の加藤明子五段（左）



GPFR を支えてくださっている岡田直子3級。昨年度の東京築地 RC 会長です



左から村田三段、平野三段、足立審判長



田中毅氏に大倉喜七郎賞

GPFRR 創設者で名誉会長の田中毅 PDG(尼崎西)が、日本棋院より最高の栄誉とされる「大倉喜七郎賞」を贈られることに決まりました。

国際組織であるロータリークラブという場で、韓国と台湾に呼びかけて RI 公認の親睦団体として「ロータリー囲碁同好会 (GPFRR)」を立ち上げ、囲碁の普及に尽くし大きな功績をあげたと、日本棋院は田中氏を讃えています。

授与式は3月28日(火)午前11時より日本棋院本院二階の大ホールで行われます。会員の皆様方に会場で大きな声援を頂きたくご案内を申し上げます。

授与式の後、日本棋院理事長およびプロ棋士の方々と共に懇親会が予定されています。

会費納入のお願いと全国大会のご案内

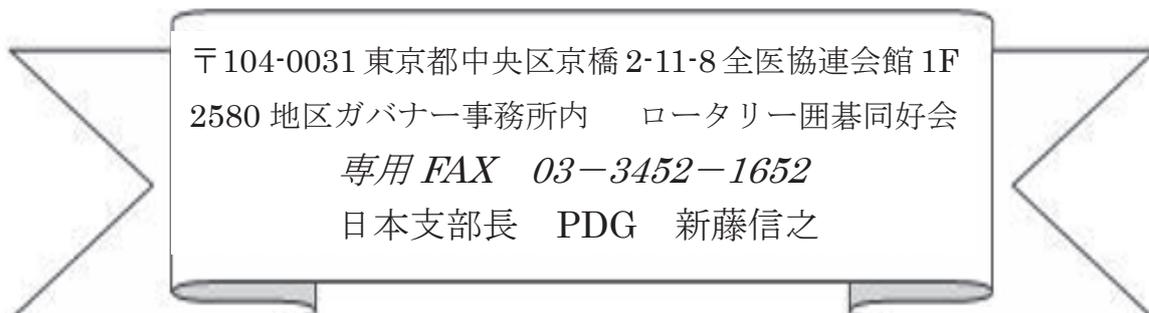
ロータリアンの囲碁仲間を GPFRR にお誘いください。新規入会のお申し込みは、ご本人の地区、クラブ、氏名、年齢、級段位を明記して所属のクラブ事務局を通じて FAX で下記の GPFRR 日本支部宛に送信をお願いいたします。年会費 2000 円。入会金はありません。

年会費は、同封の郵便振替用紙(口座番号 00100-0-427835 ロータリー囲碁同好会宛)をご利用のうえ、2017-18 年度会費分として6月末までに2000円をご送金ください。

10月14日の全国囲碁大会のご案内は、次回のニュースレターでお知らせいたします。大会期日を今、メモに残しておいてください。

6月3日～4日の台湾国際囲碁大会に参加をご希望の方は、同封の台湾大会参加申込書に必要事項を記載して送信してください。受け取り次第大会要領を返信いたします。

GPFRR は皆様の会費で運営しておりますので、何卒、会員の増強と会費の納入にご理解とご協力をお願い致します。なお、GPFRR の活動については HP(<http://www.gpfr.jp>)をご覧ください。



〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館 1F
2580 地区ガバナー事務所内 ロータリー囲碁同好会
専用 FAX 03-3452-1652
日本支部長 PDG 新藤信之